

## 2023年度 被災地支援のための馬とのふれあい活動事業

### 実施報告書

- 活動報告①馬と一緒にとわだをピンクにそめよう！
- 活動報告②桂堂学園わんぱく体験会
- 活動報告③八戸・馬の歴史と文化を学ぶ体験会
- 活動報告④インターナショナルライディングパーティー
- 活動報告⑤さつき幼稚園みどりいっぱい体験会
- 活動報告⑥寺山修司記念館「おやこ馬ルシェ」
- 活動報告⑦八戸あおば馬とのふれあい活動
- 活動報告⑧こもれびのもり乗馬体験会

令和5年12月25日

十和田乗馬倶楽部

## ① 事業名：馬と一緒にとわだをピンクにそめよう！

実施期日：令和5年5月7日

主催者名：とわだをピンクにそめる会

共催者名：学生団体「Future Generations」、習学ゼミ十和田校

実施場所：十和田乗馬倶楽部（青森県十和田市大字三本木字佐井幅 115-2）

実施事業内容：引き馬、ふれあい、弓矢体験、エサやり体験

形態：乗馬施設招致型

参加者：60名

スタッフ：16名（有資格指導者4、取扱者5、ボランティア7）

使用馬匹：6頭

### 事業の効果・評価：

地域で活動するイベントボランティア団体2組が合同で、地域資源である馬についての理解を深めることを目的に、体験乗馬会を実施している。

ともに「桜流鏝馬」イベントにも出展しながらの告知と、各団体関連への周知にて集まった家族連れがほとんどであった。

流鏝馬体験は実際に「桜流鏝馬」で流鏝馬を見ているのもあり、「それを自分自身が体験できるとは思わなかった。」「あの気分を味わうことができうれしい」などの感想もあがった。また、この機会にライセンス取得やレッスン予約を検討する方もあり、顧客化へとつなげやすい体験会であった。

前日に降雨があり会場の状態はあまり良くなく、かつ、気温も低い天候だったため予定よりは少ない来場となったものの、乗馬だけではなく弓矢や流鏝馬体験できた来場者の満足度は高かった。



## ② 事業名：桂堂学園わんぱく体験会

実施期日：令和5年6月21日

主催者名：児童発達支援センター桂堂学園

共催者名：社会福祉法人桂堂会（旭ヶ丘こども園、新井田こども園）

実施場所：桂堂学園（青森県八戸市新井田字長塚 28-1）

実施事業内容：引き馬、レザークラフト体験、馬の絵画、えさやり体験

形態：現地訪問型

参加者：150名（園児）

スタッフ：11名（有資格者4、取扱者3、ボランティア4）

使用馬匹：4頭

### 事業の効果・評価：

継続4年目の実施となる、八戸市の児童発達支援センターの体験会には、地域内にある関連グループからも参加もあり、4・5才児を中心に総勢150名もの園児が参加した。

保護者の参加も多く、先生・保護者と子ども丁寧に一人ひとりの写真を収めていた。

園外活動の頻度はあまり多くないとのことで、いつもとは違ううえに、園まで馬が来てくれるという特別な活動ができることに生徒だけではなく教員の方々も大いに喜んでいました。

体験乗馬以外にもエサやりによるふれあい、レザークラフト体験、実際の馬を観察しながらの絵画など、それぞれのコーナーをローテーションすることで、限られた時間を有効に提供することができた。

同地域内在住のクラブ会員ボランティアも積極的に参加し、自身の特技を活かした子どもたちとの交流を楽しんでいた。



### ③ 事業名：八戸・馬の歴史と文化を学ぶ体験会

実施期日：令和5年7月19日

主催者名：八戸市立明治中学校

共催者名：櫛引八幡宮

実施場所：明治中学校（青森県八戸市八幡上ミ沢 23-1）

実施事業内容：引き馬、弓矢体験、えさやり、馬の歴史文化学習

形態：現地訪問型

参加者：75名（中学生）

スタッフ：9名（有資格者3、取扱者4、ボランティア2）

使用馬匹：4頭

#### 事業の効果・評価：

各学年ごとに、乗馬体験・弓矢体験・地域と馬との歴史学習をローテーションにて実施した。地域と馬との歴史学習では、自地域にある櫛引八幡宮と流鏑馬でのゆかりのある遠野郷八幡宮からも講師協力を得ての学習会を行い、県を越えた繋がりや由来を生徒だけではなく教師も含め興味深く聴いていた。

本体験会を経て、8月に行われる地元での流鏑馬イベント協力に向けて、1年生は展示ブースの素材づくり、2年生は会場整備・的づくり準備、3年生は当日の運営ボランティア活動を行うという連携体制も確立されている。



④ 事業名：国際ナショナルライディングパーティー

実施期日：令和5年9月3日

主催者名：八戸国際交流協会

共催者名：八戸市総合政策部市民連携推進課

実施場所：十和田乗馬倶楽部（青森県十和田市大字三本木字佐井幅 115-2）

実施事業内容：引き馬、流鏝馬体験、弓矢体験、馬の歴史文化学習

形態：乗馬施設招致型

参加者：30名

スタッフ：10名（有資格者4、取扱者4、ボランティア2）

使用馬匹：6頭

事業の効果・評価：

乗馬や弓矢体験・地域の馬学習を通して、ボランティア日本人と外国人住民が交流しながらの語学研修、日本伝統文化等の学習を目的とした国際交流イベントとして主催者が開催。

当日は募集定員を超える30名が参加。7割が外国人（英語圏・アジア圏などさまざま）3割が地域在住の日本人であった。

参加者同士で通訳をし合いコミュニケーションを取りながら、流鏝馬の文化や地域の馬の歴史背景に興味を抱き、その後流鏝馬イベント観戦や乗馬への興味喚起にもつながった。



⑤ 事業名：さつき幼稚園みどりいっぱい体験会

実施期日：令和5年9月20日

主催者名：認定こども園さつき幼稚園

共催者名：十和田流鏝馬観光連盟

実施場所：十和田乗馬倶楽部（青森県十和田市大字三本木字佐井幅 115-2）

実施事業内容：引き馬、ふれあい、えさやり、レザークラフト体験

形態：乗馬施設招致型

参加者：60名（園児）

スタッフ：10名（有資格者4、取扱者4、ボランティア2）

使用馬匹：6頭

事業の効果・評価：

流鏝馬を活用した交流を行っている地域の幼稚園、年長・年中クラスの園児60名が参加。4グループに分かれ、引き馬乗馬体験・にんじんえさやり体験・ブラッシング体験・レザークラフト体験を行った。

園側で保護者役員にも見学を呼びかけてくれたこともあり、当日は保護者も同伴し、嬉しそうに撮影していた。

本体験会の後、連携団体が開く流鏝馬イベントにて、活動発表を行うこととなっている。



⑥ 事業名：寺山修司記念館「おやこ馬ルシェ」

実施期日：令和5年10月1日

主催者名：三沢市寺山修司記念館

共催者名：三沢市

実施場所：三沢市寺山修司記念館（青森県三沢市大字三沢字淋代平 116-2955）

実施事業内容：引き馬、ふれあい、弓矢体験、レザークラフト体験、エサやり体験

形態：現地訪問型

参加者：100名

スタッフ：12名（有資格者4、取扱者3、ボランティア5）

使用馬匹：4頭

事業の効果・評価：

競馬好きで知られる寺山修司にちなんで、馬を用いた企画を主催者の提案により昨年より実現している。

三沢市寺山修司記念館イベントにて施設周辺の芝生地を使用しての乗馬・弓・レザークラフトの各コーナーを実施。近隣の三沢米軍基地からの外国人来場者（主に家族連れ）が約8割を締め、国際的な活動ができた。また、ボランティアの流鏑馬選手による実演（立射演武）も披露したことで大いに喜んでもらった。

その他飲食や工芸などの各種出展もあり、1人ひとりの滞在が長いイベントでゆっくりとした時間を過ごしていた



⑦ 事業名：八戸あおば馬とのふれあい活動

実施期日：令和5年10月25日

主催者名：八戸あおば高等学院

共催者名：NPO 法人あおばの会、青森県教育委員会

実施場所：十和田乗馬倶楽部（青森県十和田市大字三本木字佐井幅 115-2）

実施事業内容：引き馬、弓矢体験、馬の歴史文化学習、レザークラフト体験

形態：乗馬施設招致型

参加者：24名（高校生）

スタッフ：9名（有資格者4、取扱者4、ボランティア1）

使用馬匹：6頭

事業の効果・評価：

八戸あおば高等学院は、不登校になった子どもたちや高校中退者、発達がアンバランスな子どもたちなどを対象に社会的自立ができるよう支援する、県教育委員会指定の技能教育施設（通信制高校）である。

学校では全国で初となる「スポーツ流鏑馬」授業を取り入れ、木馬を用いた弓矢の練習や、流鏑馬を通じた地域の歴史文化を学ぶ機会を設けている。

教育に馬を活用したい学校の思いに応え、体験乗馬のほかに、弓体験・流鏑馬の学習・流鏑馬デモ披露などの多様なプログラム提供を行った。また、最後には引馬での流鏑馬大会ゲームを行い、生徒自身による運営活動から学ぶ実践活動も交えた体験会となった。



⑧ 事業名：こもれびのもり乗馬体験会

実施期日：令和5年11月8日

主催者名：こもれびのもり保育園

共催者名：学校法人鳳明学園、社会福祉法人みつは会

実施場所：こもれびのもり保育園（青森県八戸市北インター工業団地1丁目3-72）

実施事業内容：引き馬、ふれあい、エサやり体験、レザークラフト体験

形態：現地訪問型

参加者：120名（園児100名、大人20名）

スタッフ：9名（有資格者4、取扱者3、ボランティア2）

使用馬匹：4頭

事業の効果・評価：

八戸市の郊外に位置する施設にて、周辺からも関連施設の園児も集まり100名が参加した。加えて主催者と協力体制にある老人ホームからの参加者もあり、自然が豊かな会場を使い、乗馬体験やエサやり体験に加え、レザークラフト体験の提供を行った。各クラスでの記念撮影やふれあいなどもあり、終始賑やかな笑い声が絶えない会となった。

地域的要因からも馬を初めて見たという園児も多く、貴重な体験ができると先生方も開催を楽しみにしていた

